

2019年1月11日
生活協同組合コープみらい
いばらきコープ生活協同組合
とちぎコープ生活協同組合
生活協同組合コープぐんま
生活協同組合コープながの
生活協同組合コープにいがた
生活協同組合コープクルコ
コープデリ生活協同組合連合会

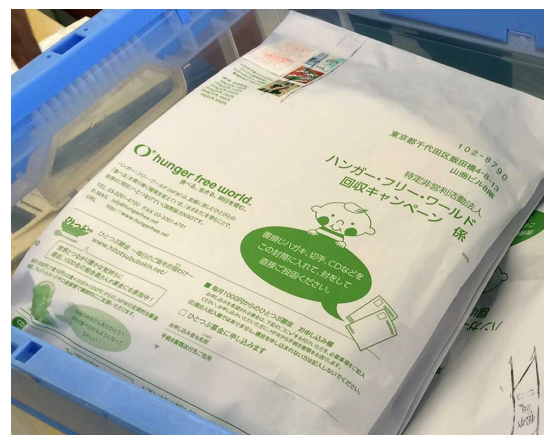
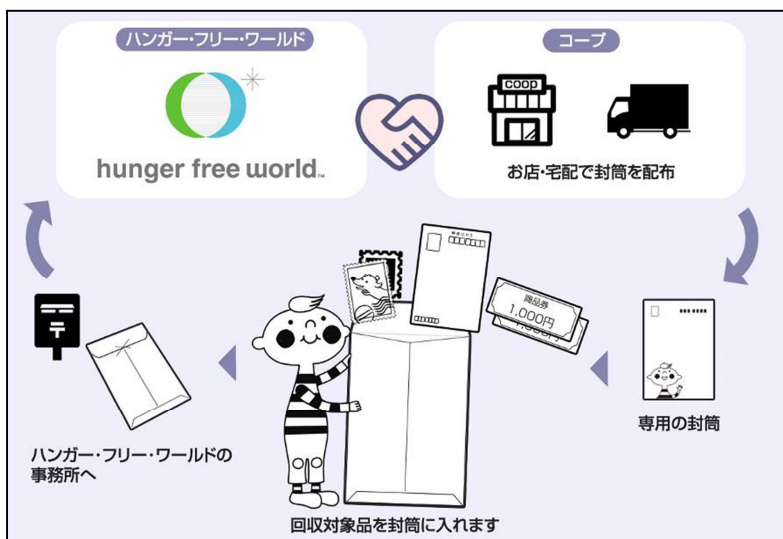
書損じハガキなどを回収・換金して、飢餓や貧困に直面するアジア・アフリカ4カ国の人々の自立支援

ハンガー・フリー・ワールド「第18回 書損じハガキ回収キャンペーン」 1月21日(月)から全店舗、および宅配サービスで協力を呼びかけます

コープデリ生活協同組合連合会（略称：コープデリ連合会、本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、開発途上国の人々の生活向上や自立、飢餓からの脱出、地域づくりなどを支援するため、1月21日（月）から5月31日（金）まで、特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド（以下HFW、本部：東京都千代田区、理事長：関口 和孝）が主催する「第18回 書損じハガキ回収キャンペーン」への協力を呼びかけます。

「書損じハガキ回収キャンペーン」は、書損じハガキや、未使用・使用済切手、商品券、中古CD・DVDなどの換金可能な物をHFWが回収・仕分け・換金し、アジア・アフリカの4カ国（バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダ）での飢餓や貧困に直面する人々の自立支援に役立てる活動です。

コープデリグループでは毎年、本キャンペーンに参加しており、2018年は合計で6,934万8,492円の寄付につながる有価物を回収しました。今年も会員生協の全154店舗、および宅配サービスなどで専用の回収封筒を配布し、コープデリグループ全体で協力を呼びかけます。組合員一人一人の善意を寄せ合って、国際社会への貢献につながるよう取り組んでまいります。



専用封筒を配布して回収（直接ポストに投函）します。切手は不要ですが、貼っていただくとその分、経費削減につながります。

※写真は過去の封筒でデザインは変わる予定です。

—「書損じハガキ回収キャンペーン」概要—

実施期間：1月21日（月）から5月31日（金）

※HFWではキャンペーン期間外も回収対象物を通年で受け付けています。

回収対象物：未使用ハガキ、書損じハガキ、未使用切手、使用済切手、中古CD・DVD・ゲーム、金、プラチナ、外貨紙幣、商品券、ブルーチップ、グリーンスタンプ など

回収方法：コープデリ宅配、店舗などで配布している専用回収封筒に対象物を入れ、直接ポストに投函（送料はかかりません）。

<書損じハガキ回収キャンペーンによる国内外での活動内容>

Bangladesh: 小学校の運営や住民の収入創出の事業を推進 等

Benin: 母子保健センターの運営や栄養改善事業 等

Burkina Faso: 井戸の修繕や住民の収入創出の事業の推進 等

Uganda: 栄養改善や協同組合の支援 等

Japan: 啓発活動、政策提言（アドボカシー）、青少年育成 等



© Hunger Free World



回収された書き損じハガキ

—特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド（HFW）概要—

日本、 Bangladesh、 Benin、 Burkina Faso、 Ugandaを拠点に、飢餓問題解決を目的とした開発途上国における開発事業、ならびに世界各地における啓発活動、青少年育成を実施。

団体名：特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド（Hunger Free World）

本部：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階

設立年月：1984年4月

理事長：関口 和孝

会員数：534名（2017年12月末現在）

ホームページ：<http://www.hungerfree.net>



『SDGs』の目標3

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

<コープデリ生活協同組合連合会 概要>

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13

【総事業高】5,428億円（会員生協計・2017年度）

【理事長】土屋 敏夫（つちや としお）

【ホームページ】<http://www.coopnet.jp/>

【組合員数】494万人（2018年12月20日現在）

【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ